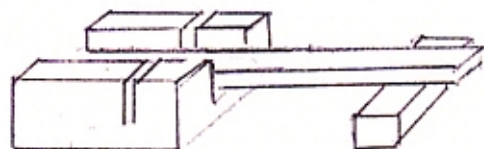




◇指導方法

<同じ長さの板を切り出す>

- ①マイターボックスの片側をふさいでおく。
- ②木材の端が、止まるところまで押す。(ふさいでいるところまで)
 - ・木材が動かないように手を添えるよう伝える。
- ③マイターボックスの切り込みに、のこぎりの歯を入れ、引きながら切る。
 - ・切れたことが分かるように、木片の高さを少し低めに設定しておく。



<線に合わせて切る>

- ①木材に線を引く。
- ②線とマイターボックスの切り込みを合わせる。
 - ・線を意識するよう伝える。
- ③マイターボックスの切り込みにのこぎりの歯を入れ、引きながら切る。

◇指導のねらい

- ・木材をまっすぐに切ることができる。
- ・一人で線に合わせて切ることができる。
- ・同じ長さにそろえて切ることができる。

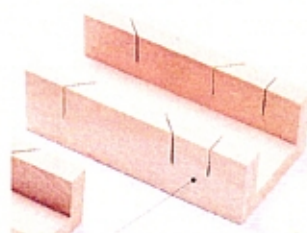
◇指導の評価

・線を意識しなかったり、できなかったりする生徒に、マイターボックスの片側をふさいでおくことで、同じ長さに切ることができ、続けて同じ長さに切り続けることができた。自分から自信をもつてのこぎり作業に取り組めた。

・線を意識できる生徒にとっては、線とマイターボックスの切り込み（のこぎりを通すところ）を合わせることでまっすぐに切ることができ、作業全体で意欲的な姿勢が持てるようになった。

・線は意識できるが、まっすぐに切ることができない生徒（だんだんずれていく）には、のこ引き方向が固定され安定して切ることができるようになり、失敗が少なくなることによって、安心して取り組めるようになってきた。

マイターボックス



- ・木材を斜め45度や直角に切るのに使われる。
- ・木材をボックスの中に置き、のこぎりの刃をガイドスロットにはめて、スロットに沿って刃を動かして切る。
- ・木製であるため、消耗品であり、スロットの幅が広がり、曲がってきたりしたらその都度作り直す必要がある。
- ・プラスチック製のものも市販されている。